

校 訓 自立・創造

若 草

平成 22 年 3 月 23 日
尼崎市立若草中学校(第 17 号)
<http://www.ama-net.ed.jp/school/J07/index.htm>

飛び立とう 未来を信じて

第 50 回卒業証書授与式

3 月 11 日(木)、午前 10 時から卒業証書授与式を行いました。多数のご来賓、地域の方、保護者の皆さんが出席してくださいました。たいへん寒い中、最後まで見守ってください、本当にありがとうございました。

私は「式辞」の中でこんなことばを贈りました。



- 1 皆の気持ちが一つになった達成感の爆発した合唱コンクールの感動
- 2 今の幸せに感謝しながら、今を一生懸命に生きることの大切さ
- 3 心のこもったことばを話せる人間になろう

とにかく、温かく思いやりのある学年でした。いくつもの感動を与えてくれました。人生の大海の中に漕ぎ出す卒業生。これからの人生はおそらく「若草」より厳しくつらいものになるはずですが、しかし、その代わり、責任は伴いますが、自分で決められ、自分で選べます。

どうか、困難を乗り越え、本当の「幸せ」をつかんでほしいです。その「幸せ」が、自分より困っている人たちの「幸せ」に目を向ける余裕のある「幸せ」であることを心から願っております。卒業生の未来に幸あれ！！

卒業生のことば

昨年、池間哲朗さんから、世界の恵まれない子どもたちの現状を聞きました。断片的な知識はありましたが、池間さんの「この子たちの夢はね、大人になることなんだよ」「学校に行くことなんだよ」ということばに衝撃を受けました。同じ人間でありながら、同じ子どもでありながら、私たちとは何という違いなんでしょう。学校に行くのが当たり前、ご飯を食べるのが当たり前、「死の恐怖」を意識せず生活できる私たちと比べて…。同時に池間さんは、そんな子どもたちに何ができるか、そのような子どもたちを一人でも減らすためにはどうしたらよいかと問いかけられました。物資の援助も大切ですが、もっと私たちが簡単にできることは…。それは、今を大切に生きること、一生懸命生きることだといわれました。生を受けて 15 年、今まで多くの方々の恩恵を受けてここまでやってこれました。助けていただいたときのうれしさ、人のお役に立ったときの満足感も多少味わってきました。でも振り返ってみて、今を大切に生きてきたか、疑問です。

私たちは今日卒業します。多くの温かい気持ちに支えられ、卒業します。今まで以上の困難が待ち受けているのもわかっているつもりです。何とか自分達の力で乗り切るよう努力する覚悟です。これまで私達を支えてくださったお父さんお母さん・先生方はじめ事務の方・校務員さん、ありがとうございました。これからも見守っていただき、成長した姿を見ていてください。社会の一員として勤めを果たせるような大人になることを誓います。

卒業生代表 北川絵理・辻中陽太

3 年の先生一同



一年間ありがとうございました

保護者の皆様へ

平成 21 年度の学校だより「若草」も早いもので最終号を迎えました。この 1 年間「学校評価」ということで、生徒や保護者の皆さんにいろいろなアンケートをお願いし、私達の「自己評価」の参考にさせていただきました。各ご家庭のご協力につきまして、感謝申し上げます。来年度も、保護者の皆さんの意見に十分耳を傾けながら、「自立・創造」の校訓のもと、「心・技・体」の「生きる力」の育成に全力を注いでいく覚悟であります。どうぞよろしくお願いいたします。一年間、ありがとうございました。

どうぞ遠慮なく来校してください。職員一同、喜んでお待ちしております。

校長 高木 貴久



地域でクリーン活動をしました

18 日(木)の朝、全校生徒が自分達の住む近くの公園に集合しました。点呼の後、先生たちや協力して下さった保護者の方とともに、公園とその近くの道路のゴミ拾い活動をしました。その後 9:20 頃、体育館に地区別に集合し、各班の感想をみんなで聞きました。最後に整美委員長の久木元君がこの活動の意味として、ジョージ・ケリング博士がニューヨークの犯罪を、地下鉄の落書きをすべて消すことから始め、見事犯罪の減少化に成功した例で説明しました。これは「割れ窓理論」といって有名ですが、確かに「掃除」「ゴミ拾い」で「周りをきれいにすることが、生徒の心まできれいにする」というのは、当たっています。このクリーン活動は、毎年 2 回行っています。来年もその予定ですので、来年度もご協力よろしくお願いします。



少年消防クラブ解散式

17 日(水)の 6 校時に、1 年 1 組が一年間がんばってきた「少年消防クラブ」の解散式を行いました。写真はそのときの講習会「三角巾での応急処置」の体験の一幕です。「トライやる」でもお世話になる東消防署の皆さん、一年間ありがとうございました。



英語検定合格者

【準 2 級】中原優歩 【3 級】坂拓実

【4 級】節和美里・梁川奈央・山辺廉斗・山元祐佳・荒木真美

万木実沙季・辻陸平・芳麻美・平谷尚・久木元大地

【5 級】杉山みのり・田辺菜桜・辻原麻希・大崎慎悟・西田遙

学校関係者評価

前号でお知らせしました「自己評価」をもとに、学校評議員さん(地域・学識経験者・PTA)と関係者(幼・小)の方から「学校関係者評価」をいただきました。(A:よく取り組み成果がある B:熱心に取り組む今後が期待できる C:取り組んだが成果が今ひとつ D:取り組み自体が不十分)

1 わかる授業への取り組み

- (1) わかりやすく学習意欲の高まる指導…………… B
- (2) 教員自身の授業の工夫改善…………… B
- (3) 校内外の研修や研究授業への成果ある取り組み…………… B
- (4) 道徳・総合的学習などの計画的実施…………… B

2 生徒理解に基づく生徒指導

- (1) 組織として統一された毅然たる指導…………… B
- (2) 別室・家庭訪問など不登校生徒への支援…………… B
- (3) 全職員の共通理解に基づく特別支援教育…………… B
- (4) 自治力を育てる生徒会活動・学級活動…………… B
- (5) 達成感のある行事とクラブ活動…………… B

3 保護者・地域との連携

- (1) 保護者・地域への学校情報の公開…………… B
- (2) 幼・小との連携や地域との協働体験活動…………… B

【まとめ】 基本的に「学校はよく努力している」という評価をいただきました。課題としては「支援の必要な生徒へのケア」「組織としての共通理解と意識改革の必要性」「親子ふれあいなどの地域との連携」「花のある教室環境」が上がりました。来年度はこれを生かして改善していきますので、よろしくお願いします。